

佐

幕末明治期に活躍した
佐賀の人物を紹介する
全15冊シリーズ

賀

A5判・112頁

各952円+税

偉

電子書籍版
各800円(税込)

人

全15冊
14,280円+税

伝

佐賀県立佐賀城本丸歴史館

840-0041 佐賀市城内2-18-1

TEL 0952-41-7550

FAX 0952-28-0220

ウェブサイト <http://sagajou.jp/sagajinden/>

Eメール sagajou@pref.saga.lg.jp

未来を信じ、 新しい時代を 切り拓いた 幕末明治の群像

佐賀偉人伝――01 鍋島直正	佐賀偉人伝――02 大隈重信	佐賀偉人伝――03 岡田三郎助	佐賀偉人伝――04 平山醇左衛門	佐賀偉人伝――05 島義勇	佐賀偉人伝――06 大木喬任	佐賀偉人伝――07 佐野常民	佐賀偉人伝――08 納富介次郎	佐賀偉人伝――09 辰野金吾	佐賀偉人伝――10 草場佩川	佐賀偉人伝――11 副島種臣	佐賀偉人伝――12 伊東玄朴	佐賀偉人伝――13 枝吉神陽	佐賀偉人伝――14 古賀穀堂	佐賀偉人伝――15 生馬寛信	
佐賀県立佐賀城本丸歴史館 著	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 著	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 著	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 著	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 著	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 著	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 著	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 著	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 著	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 著	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 著	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 著	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 著	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 著	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 著	
杉谷昭著	島善高著	松本誠一著	川副義敦著	榎本洋介著	重松優著	星原大輔著	河上眞理敦著	清水重敦著	國雄行著	高橋博巳著	森田朋子著	齋藤洋子著	青木歳幸著	大園隆一郎著	生馬寛信著
佐賀県立佐賀城本丸歴史館 編	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 編	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 編	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 編	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 編	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 編	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 編	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 編	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 編	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 編	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 編	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 編	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 編	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 編	佐賀県立佐賀城本丸歴史館 編	



カラー図版を多数掲載（03岡田三郎助より）

電子書籍版も発売中 価格：800円(税込)

対象端末：PC・iPad・iPhone・アンドロイド

ご購入方法は、「佐賀偉人伝」公式ウェブサイト
(<http://sagajou.jp/sagajinden/buy.html>) をご覧ください。



2015.8

ご注文書

お近くの書店または佐賀城本丸歴史館でお求めください。
佐賀城本丸歴史館からの購入で配送をご希望の場合は、別途、送料と振込手数料が必要です。

佐賀偉人伝

- | | | |
|-----------|------|-----------------------|
| 01 鍋島直正 | 【 冊】 | ISBN978-4-905172-00-0 |
| 02 大隈重信 | 【 冊】 | ISBN978-4-905172-01-7 |
| 03 岡田三郎助 | 【 冊】 | ISBN978-4-905172-02-4 |
| 04 平山醇左衛門 | 【 冊】 | ISBN978-4-905172-03-1 |
| 05 島義勇 | 【 冊】 | ISBN978-4-905172-04-8 |
| 06 大木喬任 | 【 冊】 | ISBN978-4-905172-05-5 |
| 07 江藤新平 | 【 冊】 | ISBN978-4-905172-06-2 |
| 08 辰野金吾 | 【 冊】 | ISBN978-4-905172-07-9 |
| 09 佐野常民 | 【 冊】 | ISBN978-4-905172-08-6 |
| 10 納富介次郎 | 【 冊】 | ISBN978-4-905172-09-3 |
| 11 草場佩川 | 【 冊】 | ISBN978-4-905172-10-9 |
| 12 副島種臣 | 【 冊】 | ISBN978-4-905172-11-6 |
| 13 伊東玄朴 | 【 冊】 | ISBN978-4-905172-12-3 |
| 14 枝吉神陽 | 【 冊】 | ISBN978-4-905172-13-0 |
| 15 古賀穀堂 | 【 冊】 | ISBN978-4-905172-14-7 |

上記内容を申し込みます。 年 月 日

ご住所（〒 ）

お名前・フリガナ

お電話番号（ ） 年 月 日

取扱い店名 年 月 日

佐

幕末明治期に活躍した
佐賀の人物を紹介する
全15冊シリーズ

賀

A5判・112頁
各952円+税

電子書籍版
各800円(税込)

偉

全15冊
14,280円+税

人

佐賀県立佐賀城本丸歴史館
840-0041 佐賀市城内2-18-1
TEL 0952-41-7550
FAX 0952-28-0220
ウェブサイト <http://sagajou.jp/sagajinden/>
Eメール sagajou@pref.saga.lg.jp



鍋島直正 なべしまなおまさ
1814—1871

佐賀藩が近代化を進めるにあたって強力なリーダーシップを発揮したのが第十代藩主・鍋島直正です。鍋島直正が推進した「抜本的な改革」と「驚くべき挑戦」、さらに、刻々と変化する幕末の政治状況下における決断や動向にも迫ります。

杉谷昭著



大隈重信 おおくましげのぶ
1838—1922

不屈の政治家として生涯を貫き、早稲田大学の創設者としても知られる大隈重信。わが国はじめての政党内閣を成立させた政治家としての足跡や、教育へむけた理念などを中心に、さまざまな分野での活躍についても紹介しています。

島善高著



岡三郎助 おかださぶろうすけ
1869—1939

第1回文化勲章受章者である岡田三郎助は、美人画に獨特の優美さをそなえ、「色彩の画家」と評されました。東京美術学校（現東京藝術大学）で教鞭を執り、帝国美術院会員、帝室技芸員として美術界を牽引。絵画作品のカラー図版も多数収録。

松本誠一著



醇平左衛門 ひらやまじゅんざえもん
1810—1843

江戸末期に佐賀藩でいち早く導入された西洋砲術は、武雄領主・鍋島茂義の指揮のもと推進されました。その最前线にあって当時最新鋭の技術導入に奮闘し、めざましく活躍した平山醇左衛門は、突然の新首という不可解な死を遂げました。

川副義敦著



島義勇 しまよしたけ
1822—1874

島義勇は、明治初期に開拓判官として北海道に入り、札幌を中心として都市を建設するに尽力しました。新政府における開拓使設置の目的や、初代長官に鍋島直正、判官に島が選任された背景、さらに島の苦難と取組みについて検証します。

榎本洋介著



大喬木任 おおきたかとう
1832—1899

大木喬任は、明治前期のわが国の制度づくりにたずさわり、とくに初代文部卿として近代的教育の確立に力を尽しました。深く歴史に学び、経世家として評価された大木が、新しい時代へむけて抱いた構想と功績に切りこみます。

重松優著



江新藤平 えとうしんべい
1834—1874

江藤新平は、微禄の武士でありながら藩内で頭角を現わり、明治政府においては、司法や教育をはじめ日本の多方面の制度づくりに活躍しました。本書は、江藤のさまざまな動きについて、綿密に追跡しながら明らかにしています。

星原大輔著



辰金野吾 たつのきんご
1854—1919

幕末唐津藩で生まれた辰野金吾は、東京駅や日本銀行を手がけなど、明治期日本の中堅建築第一人者です。本書は、辰野の足跡をたどり、ヨーロッパ留学時のスケッチブックを手がかりに、辰野の建築様式に新たな見解を提起します。

河清上水重理敦著



佐常野民 さのつねたみ
1822—1902

佐野常民は日本赤十字の父として有名です。また、万国博覧会や内国勧業博覧会などの事業についても尽力しました。本書は、博覧会事業を通してうかがえる佐野の構想や業績を探ることにより、日本の近代化の一侧面を描き出します。

國雄行著



納介富二郎 のうとみかいじろう
1844—1918

小城出身の納富介次郎は、日本の工芸教育のパイオニアです。海外視察の体験を生かし、日本の伝統工芸を輸出産業に発展させる方策を探求しました。日本各地に「工芸」教育の学校を興し、人々に貢献。異色の教育者の生涯を発掘します。

三好信浩著



草佩川 くさばはいせん
1787—1867

多久邑に生まれた草場佩川は、二十代半ばにして朝鮮通信使の応接に関わり、その詩文や書画は通信使たちから絶賛されました。江戸時代に日本と朝鮮のあいだで交わされた友情の軌跡をたどり、文人として知られた佩川の生涯を描きます。

高橋博巳著



副種島臣 そえじまたねおみ
1828—1905

副島種臣は明治新国家の構築に関わり、一等侍講として明治天皇の深い寵愛を受けました。本書は、欧米列強からも喝采を浴びた外交上の功績や、絶えず政府に注視された政治活動などを軸に、多くの知識人に敬仰された巨大な姿を追います。

著



伊玄東朴 いとうげんぱく
1800—1871

伊東玄朴は、神崎仁比山の農家に生まれ、將軍の主治医にまで栄達した蘭方医です。苦学を重ねて蘭学の発展に貢献しました。江戸に象先堂を開き、種痘所の設立に中心的な役割を果たしました。本書はその波乱に満ちた生涯を追います。

青木歲幸著



枝神吉陽 えだよししんよう
1822—1862

副島種臣の実兄で、佐賀藩の尊王派の中核人物が枝吉神陽です。明治の世を見ずに早逝ましたが、ひとびとこの人に会えば魅了され、畏敬を深めたと伝われます。全国に開いた枝吉神陽の学識と豪放快活ともいるべき人物像に迫ります。

大園隆二郎著



古穀賀堂 こがこくどう
1777—1836

幕府の御儒者・古賀精里の長男に生まれ、藩主・鍋島直正の教育係として、その成長に影響を与えた古賀穀堂は、藩校・弘道館の教授として学校拡充や学制刷新に力を注ぎました。人材育成システムの確立に意を注いだ開明的儒学者を紹介します。

生馬寛信著